

平成 30 年度単元づくり検討会ワークシート

月 日 ()

授業者氏名 (T 1 , T 2)

研究テーマ 児童生徒の意欲，主体性を育てる授業づくり

～廿特版「学びの変革」アクション・プランに基づく生活単元学習の授業改善（二年度）～

中学部研究テーマ

学習活動にペアワークやグループワーク等，他者と関わる場面を設定することにより，自らの思いを伝えることができるであろう。

①検討する単元計画

平成 30 年度 単元（題材）計画

1 学級，教科・領域名等

学部・学年・学級		() 部 第 () 学年 () 組				
教科・領域名						
単元（題材）名		(全 時間)				
単元（題材）目標						
単元（題材）の 評価規準		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度		
はつかいち 「学びの変革」		ち【知識】 知識・情報 技能・行動	は【働く力】 思考力・判断 力・表現力	か【活用】 知識・技能の 活用	い【意欲】 興味・関心 主体性	つ【つなぐ】 共同・協同・ 協働
育成したい 資質・能力 段階表	第5段階	<input type="checkbox"/> 必要な情報を収集する力	<input type="checkbox"/> 臨機応変に対応する力	<input type="checkbox"/> できるようになったことを応用・発展させる力	<input type="checkbox"/> 目的を持って自ら行動(「あんな風になりたい」「一人でできる」)	<input type="checkbox"/> 社会に貢献する力(相手を思いやり，為になることをする)
	第4段階	<input type="checkbox"/> 必要な情報を取捨選択する力	<input type="checkbox"/> 正確な課題遂行能力	<input type="checkbox"/> 自分のもてる力で課題に対処する力	<input type="checkbox"/> くりかえしやってみる(「またやろう」)	<input type="checkbox"/> 仲間と協働する力(仲間と同じ目的に向かって働く)
	第3段階	<input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な学力(書く，聞きとる，読み取る，見る，数える)	<input type="checkbox"/> 集中力・忍耐力	<input type="checkbox"/> より良くするための工夫する力	<input type="checkbox"/> 積極性(「できた」)	<input type="checkbox"/> 仲間と協同する力(仲間と心と力を合わせて活動する)
	第2段階	<input type="checkbox"/> 学習活動への興味・関心(探求する)	<input type="checkbox"/> 支援を要求する力	<input type="checkbox"/> 体験したことを思い出し挑戦する力	<input type="checkbox"/> 自発性(「やってみよう」)	<input type="checkbox"/> 仲間と共同する力(仲間と力を合わせて活動する。思いを伝える)
	第1段階	<input type="checkbox"/> 基本的な生活習慣(集団のルール，マナー，学習姿勢)	<input type="checkbox"/> 自分が得意なことを知る	<input type="checkbox"/> 体験したことを振り返り繰り返す力	<input type="checkbox"/> 興味・関心(「楽しそうだな」)	<input type="checkbox"/> 仲間と一緒に取り組む力(場を共有する)

2 指導計画

	計 画			実 績	
	指導計画	期日	時間	期日	時間
第 次		/ ()		/ ()	
第 次		/ ()		/ ()	
第 次		/ ()		/ ()	
第 次		/ ()		/ ()	
	合 計				

**1 学年 1 授業は
この授業**

平成 30 年度単元づくり検討会ワークシート

②ワーク

☆ワーク 1 【本単元で目指す児童生徒の姿】 ※「目指す児童生徒の姿」参照

5分

☆ワーク 2 【単元の到達目標を考える】 ※「資質・能力段階表」参照

5分

「分かりやすい到達目標を設定する。」

- ・単元の「ゴール」を明確にします。単元名と同様、児童・生徒にとって分かりやすく見通しがもちやすい到達点を設定します。

知的障害のある児童・生徒を対象とした教育内容・方法の充実事業報告
東京都教育委員会（平成 26 年）

到達点

「

」

☆ワーク 3 【単元名のリメイク】 5分

「児童生徒が言える単元名にする。」

- ・単元名は、単元の内容・目標を決定付ける重要な役割をもつ。

単元名は、単元の到達目標を表したものであり、児童生徒と教師が単元に取り組む際の「合言葉」であることを実感しました。魅力ある単元づくりには、テーマや到達目標を表す適切な単元名が欠かせません。

知的障害のある児童・生徒を対象とした教育内容・方法の充実事業報告
東京都教育委員会（平成 26 年）

※児童生徒が言える単元名になっていない場合は、リメイクしましょう。

現在の単元名



リメイクした単元名

平成 30 年度単元づくり検討会ワークシート

☆ワーク 4 【指導計画のリメイク】10分

※「こんな活動にしたらよりよくなるかも・・・」というアイデアを付箋に記入して、1 ページ目の単元計画に貼りましょう。

「児童・生徒の学びの文脈（つながり）をつくる単元・授業」

- 単元・授業の導入・・・挑戦する，夢をえがく
- 単元・授業の展開・・・役割をもつ，工夫する
- 単元・授業のまとめ・・・振り返る，対話する

「生活単元学習における単元づくりのポイント」竹林地 毅（平成 29 年）

☆ワーク 5 【授業実践に向けて】

「生活単元学習を評価する 1 つの視点」

- ①単元名が生活に即し，分かりやすく，吟味されているか。
- ②単元の目標が生活上の目標達成や課題解決につながるものになっているか。
- ③実際の生活から発展した計画になっているか。
- ④身に付けた内容を生活に生かす計画になっているか。
- ⑤児童生徒の目標意識や課題意識を育てる活動を含んだ計画になっているか。
- ⑥児童生徒が興味・関心や課題意識をもてる授業の導入になっているか。
- ⑦児童生徒が十分活動し，繰り返す中で，気づき，考え，試行する授業の展開になっているか。

特別支援学校 生活単元学習ガイド 秋田県教育委員会（平成 28 年）

児童・生徒が「今できること」を大切にする。

「うまくいった」「自分でできた」と実感することができる活動により，人から認められたり褒められたりする経験を多く味わうことができるようにします。

そのためには，児童・生徒の「できること」の把握と，「できる状況づくり」が重要です。

知的障害のある児童・生徒を対象とした教育内容・方法の充実事業報告 東京都教育委員会（平成 26 年）

仮説を意識した指導・支援の工夫を考えてみましょう。

※付箋を貼りましょう。（一人 1 枚）